

原点として、人と心のふれあいを大切にして、健全な暮らしづくりのために貢献しています。

## コープのお店・宅配で 取り扱い中の大山乳業商品

※掲載商品は一部です。

### 大山ヨーグルト

宅配予定  
毎週取扱

※店舗は3個組

店舗  
取扱

◀鳥取県産の生乳を50%  
使用したなめらかな  
ヨーグルト。さわやかな  
酸味とほどよい甘さに  
仕上げました。



### 白バラコーヒー

※1包も取り扱って  
います。

宅配予定  
毎週取扱

店舗  
取扱

▲乳脂肪分2.5%／鳥取県産の  
生乳を70%使用。カラメル、香  
料不使用の人気商品です。

### 大山 まきば 牛乳

宅配予定  
毎週取扱

店舗  
取扱

▲生乳100%のおいしい  
牛乳。宅配カタログ  
「おひさま通信」で取り  
扱っています。



## クリスマスケーキ予約のご案内

宅配  
では  
10月5日に  
早割スタート！

10月14日(月)からクリスマスケー  
キ特別予約号第1弾のチラシを配  
布します。初回限定のケーキやお  
得な早割も！お見逃しなく！

店舗  
では  
10月21日(月)から  
カタログ配布！

この各店サービスコーナーにて  
お尋ねください。

予約のみ  
取扱

下の記事で  
使用しました

大山乳業  
生クリーム  
デコレーションケーキ台  
6号(直径約18cm)

仕上げはおまかせ！  
世界にひとつだけの  
ケーキが作れます！



## フルゼリぷるぷるクリスマスケーキ

### 使用したもの

- コープ国産果汁100%の  
フルーツゼリー
- コープ4種のベリーミックス
- メロン
- ゴールドキウイ
- アラザン
- チョコスプレー
- マーブルチョコレート
- ミント

お兄ちゃん  
上手に切れる？



カットしたフルーツは  
かわいく型抜き。



バランスを  
見ながら飾り付け。



いい感じに切れ  
ていい感じに  
できたよ！



フルーツゼリーと  
ケーキやクリーム  
の味があってる！



今まで作ったケー  
キのなかで一番お  
いしい！

型抜きは  
崩れないように  
そ〜と

フルーツとゼリーのバラ  
ンスがよく、甘すぎなくて食  
べやすかったです。始めて食  
べたフルーツは、始めは食  
べなかつたけど、協力して  
何とか食べました(笑)

河村律子さん

瑞結ちゃん小1

優太くん小5

駿斗くん小3



# やまぐちピースフォーラム

## 2019開催報告



### 継承く次世代へつなぐ平和への思い

「核兵器をなくしたい」という願いの実現のため、自治体首長・被爆者・市民が一緒に開催しているやまぐちピースフォーラム。今年は7月25日に約300名の参加で開催しました。 文責：編集部

#### 第1部 県内で感じる・伝える「命の大切さ」

山口県内に在住の6名が、平和への思いを発表されました。

##### 8年続けた キッズピースサポーター

中村女子高等学校 3年 澤香澄さん

戦争について学び、自主的に平和活動に取り組む「キッズピースサポーター」。その活動の中で心に残っているものは戦跡見学、ピースウォーク、そして、ピースアクションinヒロシマの中で行われる「子ども平和会議」です。学校で「平和」と声に出すと興味の無い友達には冷たい反応をしますが、ここでは思う存分話すことができるし、聞いてもらえます。平和について考えることが楽しくなる場所でした。



も家族もなくすことを想像してみました。とてもこわくて、悲しくて、泣いてしまっていると思いました。

他にも林さんは大事なことを教えてくれました。人に優しくすること、みんなと仲良くすること、毎日大事に過ごすこと、感謝をすることです。つらいことを乗り越えた林さんの言葉は平和のためにとても大事だと感じました。



##### 「自分のコアを持つことの大切さ」

山口県立大学社会福祉学部 4年 作間克樹さん

原爆の直接的な被害を免れたある少年は、戦後世間の価値観が大きく



#### 第2部

#### 山口県版平和首長会議

県内4市町の首長が、第1部の感想や、今後若い世代にどう被爆体験を継承していくかなどを述べられました。

山口市 渡辺純忠市長

被爆された方の多くは、いわれない差別を受けるなど私たちには計り知れない苦しみがあったと思います。林さんのお話を伺って、このような悲惨な過ちを二度と繰り返してはいけなさと決意を新たにしました。



澤さんは8年間キッズピースサポーターの活動をされたということで、こういった活動は続けることが一番大切だと思います。難しく考えすぎずに、今後も楽しく続けてほしいですね。



日本が平和であろうとしても各国との問題など外的な要因がたくさんあります。しかし日本が被爆の悲惨さを唯一伝えられる被爆国なので、きちんと世界に伝えていくことが重要だと思います。

平生町 浅水邦裕町長

みんなが戦争の悲惨さを伝えてこそ平和は守られていくと思います。先日、「平和を祈る」戦争経験者と家族が伝えた



▲女性いきいき大賞コープやまぐち奨励賞を受賞された「ままとおん」(山口市)による、トーンチャイムの演奏とお子さんの平和の歌と手話で幕開けしました。

ンバーにガイドが出来るようになりたいです。



## 「被爆の記憶に向き合い74年」

山口県原爆被害者団体協議会 副会長

林三代子さん

被爆者の苦難は原爆が投下された瞬間から続き、原爆の恐怖や被爆の後遺症に悩まされながらの毎日だったと思います。



戦闘は戦争が終われば終結しますが、戦争が終わっても一人ひとりの中に心の闇として記憶はその人の深いところに残り、そして残っていく、きつかけがあれば一気に噴出します。終わりのない戦争を二度と始めてはいけません。体験を語る前日には、記憶が思い起こされうなされます。それでも、生ある限り語りますので、皆さんも一緒に引き継いでもらえると幸いです。

## 「林さんのお話を聞いて」

防府市立松崎小学校

4年 弘中智也くん

「山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑」で林三代子さんのお話を聞きました。1つの原爆が広



島の上に落とされて、たくさんの人々が焼け死んだり、けがをしたり、街のものが何もかもなくなっただよと教えてくれました。僕の宝物や家や学校もなくなって、友達

く転換した時代で思春期を過ごしました。だからこそ世間の情勢に左右されない、自分のコアを持つことの大切さを実感しています。

現在米寿を迎えられたその方は、我々山口県立大学生に向けて自らの人生をお話してくださいました。他人の言動や変化していく世界情勢に惑わされない、決して崩れない「自分のコアを持つこと」の大切さを教えてくださいました。

先人たちが築き上げたこの地球で、今度は僕が先人となり、子ども達が自分のコアについて十分考えられる世界にしていこうと思います。

## 「回天」をご存知でしょうか

コープやまぐち周南地域平和ネット

石田朱実さん・吉岡道子さん

太平洋戦争で開発された特攻兵器「回天」。山口県には回天の訓練基地が3つあり、そこには記念碑をはじめ平和への思いを込めたものが残されています。



平和ネットでは、回天ゆかりの地をマップにまとめました。現地に足を運び、より



▲共同で作成した回天戦跡マップ。

深く命の大切さや平和の尊さを考えるきっかけになってほしいです。

和首長会議に、多くの首長さんに参加していたできるよう、まずは誌面でのピースフォーラムを充実させ、連携した取り組みが発展していくことが、私の心からの願いです。

柳井市 井原健太郎市長



子どもたちが戦争の恐ろしさを知るきっかけを作るのは、私たち大人だと思います。私も祖父から、原爆の翌日に広島に入ったという話をよく聞かされました。大変な経験を直接聞くことができたことが今に繋がっていると思います。

この夏、柳井市で山口県では初の「長崎原爆展」を開催し、実際に被爆された方の体験講話もあります。また、地元の組合員さんが親子で参加するイベントと一緒に開催されるので、これを機に、より多くの親子に参加いただくと嬉しいのです。

## 参加された方の感想

平和を続けるのはむずかしいと思ってたけど、1人1人が友達と仲良くしたりすることも、平和を続けるために必要だと思った。  
(周南市 10代)

「平和とは与えられるものではなく、願い、作り、守るもの」という考えのもと、今を生きる大人として「戦争のない平和な世界を子どもたちに」手渡していけるように、できることから取り組んでいきたいです。  
(長門市 60代)



▲参加者の平和への思いが込められたメッセージをロビーにて掲示しました。

首長の皆さん、想像よりも身近に感じる雰囲気です。とても良かったです。一人の人として、山口県を支える人としての思いをお聞きできた気がしました。  
(山口市 40代)

いこと」というドキュメンタリー映画の撮影が平生町でも行われました。伝える活動を、私たちが続けていかなければならないと思っているので、映画という形になって良かったです。全国のたくさん子どもたちが見て、回天のことを知り、ぜひ平生町や周辺の戦跡を見に来てほしいと思っています。

## 平和な未来を子どもたちへつないでいくために

SDGsとは、国連が掲げている「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、すべての人が安心して暮らし続けられるために必要な17の目標のことです。そのうちのひとつに、「平和と公正をすべてのひとに」という項目があり、コープが長きに渡り続けている平和活動もSDGsの一環です。





## 3・11を忘れない…みやぎ生協コープふくしまから宮城・福島のいまをお伝えします

「まち・住まい・コミュニティ」

「自分たちの町のために何かしなきゃ」

集う機会がもたらした地域力

宮城県南三陸町社会福祉協議会「結の里」

南三陸町「結の里」は、震災後、ボランティアの活動拠点となったベイサイドアリーナの向かいにあります。木造平屋の建物に「デイサービス施設と地域交流スペース」があり、隣の災害公営住宅とはウッドデッキでつながっています。地域の人たちが一緒に昼食をつくったり、赤ちゃんを連れたいお母さんたちが集まってお喋りしたり、介護サービスの拠点であると同時に、すべての世代が気軽に集うことのできる場所になっています。

結の里の特徴は、この「集う機会」が地域住民と社会福祉協議会（以下社協）のコラボレーションで幾通りも用意されていることです。

「この場所では何をしていくか。2018年4月の開所までの1年間、話し合いを重ねました。住民は、実行委員として施設運営に関わります。自分たちも運営を担う一人であることが分かるにつれて、色々なアイデアを提案してくるようになりまし」と、高橋吏佳さん（南三陸町社会福祉協議会結の里管理責任）は振り返ります。行政や社協がやってくれるのではなく、自分たちはこうしたい、だから社協さん手伝って、意識が変わってきたのだそうです。

そうして生まれたのが、月1回、みんなで料理をつかって一緒に食べる「みんな食堂」や住民がボランティアで運営する「えんがわカフェ」、映画鑑賞会や「走らないミニ運動会」などのイベントです。2019年7月で開所から1年3ヶ月、集う機会がはたぐさんの笑顔をもたらすとともに、地域

域力を高めたと高橋さんは言います。「例えばみんな食堂に来られない人のために宅配はどうだろうという意見が出たり、ワークシoppや研修では思ったことをどんどん発言したり。自分たちの町のために何かしなきゃという思いが強くなりました」。

イベントを主催するのはそれぞれ実行委員のグループです。社協は予算の管理を手伝ったり、他の団体から申し込まれたイベントとの調整を図ったりします。

「住民も役割を持ち、楽しみながらやってほしい。震災から、みんなで家族のようにして生きてきたんだから、これからも楽しんでやっていこう」。常々そう話しているという高橋さん。「だから結の里の事務所も、社協のオフィスというより住民の茶の間という感じ」と和やかに笑います。

情報提供／みやぎ生協コープふくしま

（作成：2019年8月）



◀南三陸町社会福祉協議会結の里の皆さん。前列中央が高橋吏佳さん。ウッドデッキは災害公営住宅の入居者がいつでも来られるようにとフラットで開放的なつくりになっています。



▶「えんがわカフェ」。8:30～17:00の間、2時間程度、ボランティアが関わります。7月からは、住民が自分の都合のいい日時と名前をカレンダーに書き込んで運営する方式になりました。

## （一社）やまぐち食の安心・安全研究センター報告 8月

一般社団法人やまぐち食の安心・安全研究センター生協検査部門では、生協独自判定基準に従って、宅配・店舗・夕食宅配取扱商品の抜き取り検査等を行っています。



### 【微生物検査】

宅配商品94検体のべ291項目（一般生菌数／大腸菌群／大腸菌／黄色ブドウ球菌／サルモネラ属菌／腸炎ビブリオ）

1検体1項目のコープやまぐち基準超過あり、取引先に改善指導。店舗商品20検体のべ69項目（一般生菌数／大腸菌群／大腸菌／黄色ブドウ球菌／サルモネラ属菌／腸炎ビブリオ／クロストリジウム属菌）

2検体2項目のコープやまぐち基準超過あり、取引先に改善指導。※その他、夕食宅配43検体のべ135項目の検査を実施。

### 【理化学検査】

残留農薬検査：宅配商品27検体のべ5,913項目、店舗商品13検体のべ2,847項目。結果は、すべて良好。

※その他、夕食宅配4検体のべ876項目、その他の依頼25検体のべ5,475項目の検査を実施。

■詳しい結果はホームページで月次報告中。

## コープ子育てひろばのお知らせ

子育てひろばは赤ちゃん・未就学児を対象にした、出会いの場・ふれあいの場です。

参加予約は不要。いつ来てもいい帰ってもOK

ただし、気兼ねなく使っていたくため、光熱費やドリンク代、保険の一部として利用料1家族1回100円をいただきます

催し物は特にありません。

絵本やおもちゃなどの遊び道具はありますが、基本的にノンプログラムで、のんびりくつろげ、自由に過ごせる空間を提供する場です。

先輩お母さんのスタッフさんがサポートします。

専門家ではありませんが、子育ての悩みなどに対して、経験を聞いたりすることで気が楽になることもきっとあるはず。

今日の日程

10:30～13:30（周東・岩国センターは10:30～13:00）

次回  
10/22（火）

9/24（火）「はあもにい〜」（小郡店前）（山口市）

10/3（木）「とくやま店組合員集会所」（周南市）めまぎ文庫さんによる読み聞かせあり

10/8（火）「周東センター組合員集会所」（田布施町）

10/11（金）「萩センター組合員集会所」（萩市）

10/21（月）「岩国センター」（岩国市）

10/28（月）「山陽小野田市民体育館」（山陽小野田市）

10:00～11:45 ※イベントのためお子さん1人100円の参加費となります。



お問い合わせ：☎0120-27-5520

※ホームページでは会場の地図も掲載しています。